

SQS 用のスキャナの設定例

○Canon C2230F の場合の設定例

以下のように設定をすると、「自動」でスキャンした場合より、SQS での読み取り時のエラーが少なくなると思われます。

カラー選択：白黒 2 値

解像度：150 dpi

ファイル形式：PDF (TIFFでも可)

原稿の種類：文字

その他の機能：濃度→+2程度 (原稿の濃さによる)

→背景調整→調整→-2~-6程度 (用紙の白色度による)

○設定のポイント

- ・原稿の種類を「文字」、カラー選択を「白黒 2 値」に設定
- ・濃度を調整し、マークは「濃く」、背景は「薄く」設定

これにより、背景とマーク部分のコントラストがはっきりするように読み取られます。

- ・解像度を 150 dpi に設定

この程度の解像度があればマークをきちんと読むことができます。あまり高解像度にすると、処理が重くなるので注意しましょう。

- ・ファイル形式は PDF 形式で保存

保存後に別のソフトでページ毎に TIFF 形式のファイルに変換するか、直接 TIFF 形式で保存します。

ファイルの管理が面倒になるので、ここでは PDF 形式で保存して、PC 上で TIFF 形式に変換する方がファイルを管理しやすいと思います。

- ・マークを読み取るための解像度は 150 dpi で十分

自由記述欄の記述を見やすくしたいなどの場合は、300 dpi でもよいかもしれませんが、150 dpi でほとんど読めます。